

## 共同シンポジウム 次第

テーマ 水辺の自然再生 よみがえる魚たちⅡ

開催期日 2012年11月3日（土）

会 場 エルパーク仙台（仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル5F）

趣旨説明 高橋清孝（水辺の自然再生シンポジウム実行委員長）

第1部 10:00～12:00 座長 佐藤弘樹（シナイモツゴ郷の会）

ゆたかな自然を子どもたちへ

① 地域の宝シナイモツゴとゼニタナゴを守るために

- ・二宮景喜（シナイモツゴ郷の会）地域ぐるみの取り組みの必要性と体制づくり
- ・吉田千代志（シナイモツゴ郷の米つくり手の会）地域住民の取り組み
- ・鈴木俊光（鹿島台小学校）里親の取り組み

② 地域から全体へ

- ・（杜の伝言板ゆるる）一般市民との交流をめざす活動

③ リレートーク

- ・鹿島台小学校など3校の里親小学生
- ・市民（里親小学生の母親）
- ・消費者（一般消費者）

- ・農業者（西澤誠弘：伸萌ふゆみずたんぼ生産組合）

④ 自由討論

リレートーク講師へのインタビュー中心

第2部 13:00～17:30

魚たちをよみがえらせるために 進行 坂本啓（シナイモツゴ郷の会）

① 先進知見の紹介 13:00～15:40

- ・西野 麻知子（びわこ成蹊スポーツ大学）琵琶湖の再生戦略
- ・千野 力（東京都）多摩川におけるアユなど魚類復元と原因
- ・池田 実（東北大学）シナイモツゴ遺伝子多様性の保全
- ・朝井 俊亘（近畿大学）メダカの新種発見と保全
- ・芦沢 淳（宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団）  
アメリカザリガニの生態と駆除
- ・高橋 清孝（シナイモツゴ郷の会）  
シナイモツゴとゼニタナゴ生息場の拡大、ため池から河川へ

② 自然再生の取り組み紹介（リレートーク 7分/人） 15:40～16:30

- ・井上 信夫（生物多様性ネットワーク新潟）トキ野生復帰と外来魚対策
- ・村上 伊佐弥（NPO亀岡人と自然のネットワーク）アユモドキの保全活動
- ・上原 一彦（イタセンバラ保全民ネットワーク）イタセンバラの保全活動
- ・鈴木 盛智（手賀沼水生生物研究会）生き物復元の第1歩としての民間企業との協働
- ・三塚 牧夫（ナマズのがっこう）池干しによるブラックバス完全駆除
- ・藤本 泰文（伊豆沼バスバスターズ）バス・バスターズの外来魚駆除
- ・鈴木 康文、浅野 功（シナイモツゴ郷の会）シナイモツゴ里親活動

③ 総合討論 16:30～17:30 座長 小林光（ノーバスネット）

\*終了後、情報交換会（会費4,000円）を開催します。